

第3学年国語科学習指導案

指導者 熊本市立飽田中学校 北川 純子

I 題材名 「主張文を書こう」(三省堂3年)

II 題材について

1 題材観

「主張文」を書くことは、読み手の立場や意見を想定しながら、自分の主張を読み手が納得する文章として表現することである。自分の考えを意識し自覚した上で、それを主張することで、読み手と書き手が分かり合う喜びを味わうことをねらいとしている。そのためには、単に自分の意見を押し通すだけでなく、読み手や反対意見を想定し、距離をもって自分の意見を見つめ直した上で、それでもなお伝えたい主張を確かな根拠をもとにして文章にしていく力が必要である。この力を身につけることは、自分のものの見方や考え方を深め、生活をより豊かにしていくものと考えられる。

2 系統観

	題 材	①自分新聞 を書こう	①体験文 を書こう	①読書郵便 をしようを 来う。	①レポ ートを 書こう	①せり ふと 書き	②変わ り身の 上話	②意見 文を書 こう	②言葉 でスケ ッチ	③主張 文を書 こう	私の 歳時 記
	言語技能	説明・報告・ 記録	生活文	説明・報告・ 記録	説明・ 報告・ 記録	創作文	創作文	意見文	説明 報告	意見文	作文
テマ ・取材	疑問に答える形で主張 の文を書く。		○	○				◎		◎	
	主張の根拠となる事実と 意見を分けてカードにま とめる。	○	◎		○			◎		◎	
	反対意見を想定したカ ードをつくる。		○					○		◎	
構 成	文章の構成を工夫する。		○	○	○	○		○	○	◎	
記 述	文末表現や接続するこ とばを適切に使って書く。	○	○		○			○		○	○
評 価	説得の工夫を見つけだす。 テーマづくりや取材の しかたを振り返る		◎	○	◎			◎		◎	

3 生徒の実態

本学級は40名。授業に集中できない生徒も時々見受けられるが、授業態度は全体的に落ち着いている。今年の4月から、全学級で「3分間作文」を始めた。授業開始時に3分間、その日書きたいことを書く活動である。書くことに慣れさせるのが目的であり、毎回、字数を数えさせている。どの生徒も集中して取り組んでおり、書くことへの抵抗は小さくなってきている。また、一学期末に熊本市文集「山脈」の作文に全員が取り組んだ。意見文については相手の状況や立場を考えて書いている生徒は少数であった。

3学年全体を対象にした意識調査では、「書くこと」が好きと答えた生徒は30%で、その中で、意見文が好きと答えた生徒の割合は10%と低かった。「書く力」を身につけたいと答えた生徒は23%で、具体的には、「文章をうまく書けるようになりたい。」「意見文の力をつけたい。」「作文の構成や内容をすばやく正確に考え、文章を書けるようになりたい。」という意見があった。

以上のことから、意見文を書くことに抵抗を感じながらも、意見文を書けるようになりたいという生徒の思いがうかがえる。

4 研究の視点にそった授業の工夫

(1) 視点① 「相手や目的に応じて的確に書く力をつける」について

・主張したい事柄について、自分の立場(主張)とだれに対して伝えるのか(相手意識)を明らかにして、構想を考えさせる。

(2) 視点② 「『書くこと』の言語技能を習得する場を工夫する」について

・読み手が納得する文章構成に気づかせるために、一斉指導で考える場をつくる。

・主張の根拠については、自分の経験や見聞のほかに、必要があれば図書館やインターネット、新聞、テレビ等からも情報を収集させ、必要なものを選択させる。

・3つのパターンの展開を図り、生徒相互が教え合う場を設定する。

(3) 視点③ 「自らの学習成果や課題に気づく評価のあり方を工夫する」について

・同じテーマのグループ活動で、読み手が納得する文章構成になっているかを反対の意見の生徒が評価をするという相互評価を行う。

・相互評価を経て、構成や文章を練り直すことで、文章構成力や文章表現力が確かに身についたと実感できるようにする。

Ⅲ 学習指導の目標

- ・自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。 (B-2・3-イ)
- ・文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。 (B-2・3-ウ)
- ・自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。 (B-2・3-エ)

- だれに対して何を主張するのかを明確にできるようにする。
- 主張の根拠を明らかにし反対意見も想定した、読み手が納得するような文章構成ができるようにする。
- 文章構成表をもとに、読み手が納得するような主張文が書けるようにする。

Ⅳ 指導と評価の計画 (6時間取り扱い)

次	時	学習活動	評価規準	評価方法
1	1	・いろいろな事柄から疑問を見つける。 ★自分の主張を一つの文でまとめる。	〈関心・意欲・態度〉 ・自分の主張が明確で、読み手を納得させる文章を書こうとしている。	学習シート
	2	・マップ図を活用して事実の取材をする。 ★主張の根拠となる意見、事実をカードに書き込む。	〈書くこと〉 ・事実と意見を分けて書くことができたか。 ・反対の立場を想定して書くことができる。 ・文章構成表をつくることができる。	学習シート 材料カード
	1 本時	★提示されたカードを並べかえる。 ★反対の立場やそれに対する反論を考えてカードに書き込む。 ★構成表を完成する。	〈言語事項〉 ・文末表現や接続することばを適切に使うことができたか。	学習シート
2	1	★文末表現や接続することばを適切に使う。 ・構成表をもとにして、原稿用紙に文章を書く。		
3	1 2	★友達と交換して読み、相互評価を行う。 ・推敲をして、よりよい文章にする。		

Ⅴ 本時の学習

1 目標

- 主張文の論の展開を考え、相手が納得するような文章構成表を完成する。

2 評価

評価項目	具体的な評価規準	つまづきへの手立て
書くこと	・想定される反対意見、それに対する反論を、カードに書く。 ・論の展開を考え文章構成表を完成する。	・まず共通のカードで一斉に論の展開を考えさせる ・生徒同士の話し合いや、個別指導を取り入れる。

3 展 開

★言語技能を習得する場面 ☆言語技能を応用する場面

過程	学 習 活 動	時間	基本発問・指示
導 入	1 前時までの学習を振り返り、本時の学習目標を確認する。	2	○書きたい順番にカードを並べてみましたか。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 材料を組み立て、読み手が納得するような文章構成を工夫しよう！ </div>			
★ 展 開	2 提示されたカードを並べていくことで、論の運び方を考える。		
	(1) 提示された文章を読む。	5	○もっと説得力のある文章にするには、どうしたらよいでしょう。
	(2) 黒板に提示されたカードを、論の展開を考えて並べる。	5	○ほかに並べ方はありませんか。
	(3) 反対の立場を想定すると説得力が出てくることに気付く。	5	○新たに加えたいカードはありませんか。
★	3 読み手をより納得させるための反対の立場及びそれに対する反論を考える。		
(1) 反対の立場の人に反対意見を聞き、カードに書き込む。	10	○反対の意見をもつ人に見てもらい、反対の意見を聞き、カードに書きましょう。	
		5	
	(2) 反対意見に対する反論（自分の主張）を考え、カードに書き込む。	5	○反対意見に対する反論を考えましょう。
	(3) 反対意見と反論のカードを、構成表に入れる。	10	○並べたカードを声に出して、聞き手にわかるようにはっきりと読みましょう。 ○アドバイスをし合って、よりよい文章構成にしていきましょう。
	4 並べたカード（構成表）をグループ内で声に出して発表し合い、互いにアドバイスをする。	10	
ま と め	5 今日の学習を振り返り、次時の予告をする。	3	○反対意見や反論も入れて、説得力のある文章構成ができましたか。 ○次時は、これをもとに、いよいよ主張文を書きます。

教師の支援	評価 ●は言語技能の評価	備考
<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を思い出させる。 		学習シート 材料カード
<ul style="list-style-type: none"> 主張の文章は生徒が反論しやすいものを提示する。 黒板に並べられた、「事実」・「意見」のそれぞれのカードを、グループで話し合わせ、順序を工夫させる。 反対の立場の意見を想定して書くと、読み手をより納得させる文章になることに気づかせる。 生徒の実態から、次の3つのパターンが予想される。それぞれに応じた学習展開を以下に示す。(臨機応変に対応する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ●論の展開を考えながら。「事実」と「意見」のカードの順序を工夫することができたか。(提示されたカード) 	主張文のプリント 提示のカード 反対意見のカード 反論のカード
自力解決ができる ◎反対の立場の意見や事実を自力で考えた生徒はカードに記入させる グループ解決のアドバイスをさせる。 ↓	グループ解決ができる ○互いの構成表を読み合い、反対の立場の生徒にアドバイスをさせる。 意見の想定ができればカードに記入させる。 ↓	教師の支援が必要 △指導者の方で反対の立場や意見をいくつか示す。生徒と話し合い、決定したら、カードに記入させる。 ↓
学習活動3の〈2〉に入る		
<ul style="list-style-type: none"> 声に出して、発表し合うことで、論の展開を確かめあわせる。 互いにアドバイスをして、よりよい文章びにしていこうという意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「反対意見」とそれに対する「反論」をカードに書き、構成表を完成することができたか。(学習シート) ○友達の発表を考えながら聞き、感想を述べたりアドバイスをすることができたか。 	
<ul style="list-style-type: none"> 早く文章を書きたいという意欲を持たせる。 		